

一般質問

一般質問の様子



■令和7年9月11日～9月18日

※令和7年9月13日～9月16日は休会です。

一般質問では、「医療・福祉」に関するこ
とや「観光・産業」について、多くの議員が
取り上げたほか、「教育」「農林水産」「環
境」に係る施策などについて、幅広く議論
を交わしました。



質問 令和の米騒動について

消費者にとって大切なのは、収入が少ない家庭でも低廉な価格で安心してお米が買えること。そして、生産者にとっては、生産費を下回ることのない安定した収入が得られること。令和の米騒動を踏まえ、日本の食料・米政策について、知事の考えはどうか。

知事 生産者が安定的に営農を継続できる米政策となるよう、国に対し働きかけていくと回答

食料安全保障の観点から、主食となる米の安定した生産と供給は不可欠であると認識している。現在、国では米の需要に応じた増産による安定供給の実現に向け、中長期的な対策の検討を進めていることから、県としては、検討状況を注視するとともに、生産者が安定的に営農を継続できる米政策となるよう、国に対し働きかけていく。



議員名簿

瀬戸健治郎議員
(自民)

令和7年9月11日 質問



録画

その他の質問

進む地球温暖化への対応について/
宿泊税を財源とする具体的な事業について

質問 見えない障害、高次脳機能障害支援について

各圏域に専門医を配置した地域支援拠点病院を設けることを想定していたが、現在は石巻市の1か所になったと聞く。当事者と家族から、高次脳機能障害を専門的に診て、様々な手続きに必要となる診断書を作成してくれる病院が少ないとの声もあることから、早急に地域支援拠点病院の整備が必要と思うがどうか。

保健福祉部長 医療機関同士の連携や役割分担を検討していくと回答

地域支援拠点病院を整備するためには専門医等の確保が大きな課題だが、令和5年度の県内医療機関を対象とした調査では、高次脳機能障害の診断を行うと回答した医療機関が39か所あることから、地域支援拠点病院制度の見直しも含め、医療機関同士の連携や役割分担の在り方などについて検討してまいりたい。



杵和也議員
(県民の声)



議員名簿



録画

その他の質問 「次の世代のために今、取るべき行動とは」環境・エネルギー政策について/
就労選択支援と障害者ピアサポート研修について

令和7年9月11日 質問

質問 再生可能エネルギーについて

森林法に基づく林地開発許可制度については、県の実情を踏まえ、国の技術的助言と異なる開発行為の技術的基準を設けることが可能である。仙台市太白区秋保地区のメガソーラー計画等、メガソーラー設置による大規模森林伐採、自然環境破壊、災害リスク増大を抑止するため、基準の厳格化を検討する余地があると考えるがどうか。

環境生活部長 国が定めた基準により災害の防止や環境の保全などが担保されると考えていると回答

県では、林地開発許可に当たって、国が示している技術的基準に基づき審査をしている。技術的基準については、国が専門的な知見や根拠に基づき定めており、最新の知見に基づき、逐次必要な改正が行われていることから、県としては、現在のところ、県独自の基準を定めなくても、国が定めた基準により災害の防止や環境の保全などが担保されるものと考えている。



録画

その他の質問 歴史認識について／産業施策について／外国人材について／みやぎ型管理運営方式について／モスレム土葬問題について／特別支援教育と不登校対策について／知事の政治手法について



わたなべ拓議員
(自民)



議員名簿

令和7年9月11日 質問

質問 観光について

観光が地域経済を支えるためには、地産地消などを通じて観光を地域経済そのものとして設計する必要があると考えるがどうか。また、今後の観光政策及び地域経済戦略にどのように反映させていくのか。

経済商工観光部長 地域経済の持続可能な好循環を生み出す政策を検討していくと回答

持続可能な観光地域づくりを進める上で、地域ならではの食材や体験などを提供することは、旅行者の滞在満足度や再訪意欲の向上に繋がることに加え、地域内からの食材等の調達の割合を高め、地域経済の活性化に好影響をもたらすものと考えている。今後、地域食材を活用したメニュー開発の支援など、地域経済の持続可能な好循環を生み出す政策を検討してまいりたい。



渡辺忠悦議員
(立無ク)



議員名簿

令和7年9月11日 質問



録画

その他の質問 県財政について／農業について／入札制度について



松本由男議員
(自民)



議員名簿

令和7年9月12日 質問

質問 青少年の社会教育と社会教育施設の在り方について

築48年の宮城県青年会館は老朽化が著しく、入居団体や青少年関係団体から強い建て替え要望がなされている。教育基本法や社会教育法では、青少年の健全育成や社会教育施設の整備が明確に位置づけられており、官民連携などあらゆる手法を駆使して建て替えを実現することが求められるが、県としてどのように考えているのか。

知事 建て替えの必要性は認識しており、建物の所有者の考えを伺いながら検討を行っていると回答

現在の宮城県青年会館は、県が土地を貸し出し、団体が寄附を集めて建築されたものである。県としては、建物の老朽化は認識しているが、全て県が建て替えるという性質の建物ではなく、まずは所有者においてできるだけのことを検討し、足りない部分に行政のサポートを、という姿勢を持っていただきたいと考えている。一方、青少年活動の参加者減少により、寄附を集めることが難しいということも十分承知していることから、建物の所有者である一般財団法人宮城県青年会館の考えも伺いながら、今後の会館の在り方について検討を行っているところである。



録画

その他の質問

未来につなぐ町内会・自治会等の応援条例について／あらゆる可能性を秘めたeスポーツの推進について／仙台市エリアへの「道の駅」新設支援について／県内の信号機の新設・廃止状況の見える化について

質問 水道事業みやぎ型管理運営方式について

水道事業の運営権を売却したという誤解や、外資企業による水質管理に対する県民の不安がある。不安払拭のため、丁寧な説明を求めるがどうか。

知事 県民の皆様が不安を感じることのないよう、引き続き丁寧でわかりやすい情報発信に努めると回答

みやぎ型管理運営方式は、これまでどおり県が施設の所有権を持ち続け、水道事業者として最終責任を担いながら、水道施設の運転や維持管理等について20年間の運営権を民間事業者に設定する官民連携事業であり、施設や運営権を売却したものではない。県民の皆様が不安を感じることのないよう、引き続き、あらゆる機会をとらえ、より丁寧でわかりやすい情報発信に努めるとともに、運営権者との連携を一層強化し、安定的な事業運営に取り組んでまいりたい。



その他の質問

病院再編への知事の想いについて／再エネ発電施設に関する条例について／ネオニコチノイド系農薬について／オーガニックビレッジ宣言の推進について／仙台牛これからの発展について



村岡たかこ議員
(自民)



議員名簿

令和7年9月12日 質問

質問 有機農業の推進について

生産から販売までの支援体制構築と、在校中の資格取得による確実な指導者育成で有機農業を推進するため、農業系高校及び農業大学校に有機農業専攻学科を設置してはどうか。



佐々木奈津江議員
(県民の声)

現在、農業大学校では、有機農産物認証制度に関する講義に加え、生産から販売までを学ぶ現地視察や、農業者のもとでの研修などを実施している。また、農業系高校では「農業と環境」や「栽培と環境」などの授業で、有機農業について学習している。今後とも、有機農業に関心のある学生が、必要な知識や技術を十分に習得できる環境づくりに努め、次代の宮城の農業を支える人材の確保育成に取り組んでまいりたい。



録画

その他の質問 県民の健康増進とがんの早期発見の可能性について／
県立高校存続の新たな取組について



議員名簿

令和7年9月12日 質問

質問 知事の基本姿勢について

鎌田三之助翁が民主主義として体現した、関係者一人ひとりと向き合い品井沼の干拓事業を完成させた姿をどのように受け止めているか。また、自身の県政における民主主義をどのように捉えているか。

知事 今後とも県民の皆様の声に真摯に耳を傾ける県政運営を心掛ける と回答



中島源陽議員
(無所属)



議員名簿

令和7年9月12日 質問



録画

その他の質問 重症心身障害児者及び医療的ケア児者を取り巻く医療環境について／
転換点にある農業政策について／子どもたちを支える教育環境について



議員名簿

令和7年9月12日 質問



質問 ナイトタイムエコノミーについて

昨年的一般質問から認知され始め、多賀城市のほか各地域でナイトコンテンツが充実しているが、その先の宿泊・飲食へ続く動線がなくては、経済効果はついてこない。それに伴い、県警の協力を得て、国分町のモラルや治安を守る事も必要であると思うが、その取組についてどうか。

警察本部長 今後も、仙台市や地域の関係団体と協働した環境浄化を行っていくと回答

県警察では、官民合同でのパトロールや、客引き行為等の迷惑行為を防止するための啓発活動を行っている。また、風俗営業等の事業者に対し、法令を遵守した健全営業を行うよう働き掛けているほか、国分町を利用する方々に対しても客引きを利用しないよう呼び掛けている。今後も、仙台市や地域の関係団体と協働した環境浄化や、匿名・流動型犯罪グループの実態解明や壊滅に向けた対策を推進していく。



録画

その他の質問 村井県政20年の実績について／飲食店の現状について

石森ゆうじ議員
(維新)



議員名簿

令和7年9月17日 質問

質問 産業廃棄物の処理とリサイクルの適正化について

産業廃棄物処理業、リサイクル業において、悪質事業者が県内に流入する懸念がある。既に他県で施行されているように「ヤード条例」を制定し、許可制・届出制の下での屋外保管業者の把握・規制を行い、環境の保全と住民の安心を確保すべきと考えるがどうか。



環境生活部長 国の法制化の動向を注視しつつ、県内ヤードに対する監視・指導を継続していくと回答

条例での規制については、御指摘のとおり、規制のない自治体にヤードが移転し、規制から逃れ、全国的な問題に波及する恐れもあることから、本来は法律により全国統一の基準とすべきものと考えている。現在、国において、早期の法改正に向けた具体的な議論が進められていることから、その動向を注視しつつ、住民の生活環境を保全するため、県内ヤードに対する監視・指導を継続していく。



その他の質問 デジタル金融資産の活用と展開について／産業の育成と支援について

熊谷一平議員
(自民)



議員名簿

令和7年9月17日 質問

質問 仙台東道路事業化に向けた政策目標の再確認と 県の方向性について

政策目標では広域防災が一つの目標である。広域防災連携に係る国との協議状況を踏まえ、広域防災拠点のサブ拠点となる防災道の駅が仙台都市圏にないことから、広域防災力の機能確保に向け、仙台東道路の起終点付近に防災道の駅を設置すべきと考えるがどうか。

土木部長 設置主体となる市町村等と連携しながら取り組んでいく と回答



高橋克也議員
(自民)



議員名簿

令和7年9月17日 質問

防災道の駅は、国が、要件を満たす既存の道の駅から選定するものとされている。県では、非常時の機能強化を図るため、「宮城県新広域道路交通計画」において、将来的な目標として、防災道の駅を各圏域当たり1か所配置することとしており、今年5月には、道の駅「三本木」が、我が県初の防災道の駅として選定された。今後、防災道の駅の整備について、設置主体となる市町村等から意向が示された場合には、丁寧に相談に乗るなど、連携しながら取り組んでまいりたい。



録画

その他の質問 不法ヤード問題について／宮城県の広報戦略について



平岡静香議員
(県民の声)



議員名簿

令和7年9月17日 質問

質問 こどもの人権と教育について

こども基本法施行から2年が経ったが、教育分野における子供の権利保障という観点から重点的に取り組むべき課題と対策はどうか。

知事 教育委員会と連携し、子供たちが自分らしく学び続けることができる環境づくりを進めていく と回答

県では、全ての子供に、教育の機会均等を保障する観点から、確かな学力の育成や子供の居場所づくり、多様な学びへの支援など、学校・家庭・地域が一体となって、誰一人取り残さない教育の推進に取り組んできた。引き続き、あらゆる場面で子供の権利が守られ、主体性が尊重される社会になるよう、権利主体である子供たちの声をしっかりと受け止めるとともに、総合教育会議等の場を通じて、教育委員会と連携を図りながら、子供たちが安心して自分らしく学び続けることができる環境づくりを進めてまいりたい。



録画

その他の質問 民主主義と選挙について／
宮城県の精神医療保健の方向性について



質問 知事の政治姿勢について

全国知事会会長として培われた交渉力・発信力・人的ネットワークを、どのように県政に還元し、県民生活や地域経済の発展に結びつけていくのか。また、国と地方の関係や首長のあるべき姿についての考えはどうか。

知事 知見や人脈を最大限活用し、実効性ある施策で県民生活の向上や地域経済の発展につなげていくと回答

全国知事会会長として培った知見や人脈を最大限に活用し、我が県が直面する諸課題に対して実効性ある施策を推進し、県民生活の向上や地域経済の持続可能な発展につなげていく。また、国と地方は車の両輪のように、互いに連携・協力して諸課題に立ち向かうことが重要であり、その上で、首長は自らの判断と責任のもと、地域の実情に即した施策を推進し、国と地方がそれぞれの役割を果たすことにより、持続可能で活力ある日本の実現を目指していくことが使命であると考えている。

他の質問

本県の米政策等について／
仙台空港・空港周辺地域活性化について／
下水道汚泥の肥料利用について



録画

村上智行議員
(自民)



議員名簿

令和7年9月18日 質問

質問 子どもも先生も安心できる学校に

体温調節が困難な子供も学ぶ特別支援学校の体育館へのエアコン設置は喫緊の課題である。避難所に指定されている特別支援学校の体育館について、国の空調設備整備臨時交付金を活用したエアコンの速やかな設置を求めるがどうか。また、未指定校については、市町村と連携して避難所に指定し、1日も早い設置を求めるがどうか。

教育長 特例交付金の活用を視野に入れながら、特別支援学校体育館へのエアコン設置について検討を進めると回答

特別支援学校の体育館については、体温調節が難しい児童生徒もいることから、昨年度、猛暑対策の一環としてスポットクーラーを導入したところである。昨年度、国において、避難所に指定されている体育館への空調設置を対象とした臨時特例交付金制度が創設されたことから、制度の活用を視野に入れながら、特別支援学校体育館へのエアコン設置について検討を進めるとともに、特別支援学校や市町村の個々の事情に留意しながら、避難所指定の協議についても進めてまいりたい。



他の質問

村井知事に5期20年間の政治手法を問う／
物価高騰に対する暮らし・生業への支援について／
4病院再編と医療・介護をめぐる問題について



天下みゆき議員
(共産)



議員名簿

令和7年9月18日 質問

質問 大きな課題を抱える県内医療機関の現状と将来に希望が持てる支援策について

半数以上が赤字である民間病院経営に対する認識はどうか。また、地域生活を支える重要インフラである病院を安定的に維持することは県の責務であり、積極的な支援を行うべきと考えるがどうか。

知事 医療現場の声にしっかりと耳を傾けながら、地域における適切な医療提供体制の確保に向けて取り組んでいく と回答

県ではこれまで、医療機関物価高騰対策事業や、病床数適正化に係る給付金の支給など、社会情勢に応じた経営支援を実施してきた。あわせて、病床機能の転換や再編を検討する医療機関に対しては、医療コンサルタントによる経営的な分析支援や、財政的支援を行うなど、持続可能な医療提供体制の構築に取り組んできたところである。引き続き、医療現場の声にしっかりと耳を傾けながら、地域における適切な医療提供体制の確保に向けて取り組んでいく。



録画

その他の質問 宮城県と山形県の今後の連携の在り方について／

宮城オルレの今後の展望について

村井知事の5期20年を振り返っての評価と6期目に向けた期待について



菊地恵一議員
(自民)



議員名簿

令和7年9月18日 質問



質問 人口減少社会における学校教育の在り方について

他県の取組を参考に、企業をサポーター登録する仕組みを導入し、学校と企業との連携を強化すべきと考えるがどうか。

教育長 他県の事例も参考に、企業と学校が双方向で協働し、地域課題の解決に取り組める体制を整備していく と回答

審議会で検討を進めている、次期県立高校将来構想においても、大学や企業との連携などによる高度な専門知識を学べる環境を整備することにより、専門性の高い職業分野への就職や進学に対応できる力を養うことが必要であるとされたことから、他県の事例も参考に、協力企業や外部人材等の連携可能な内容をデータベース化するなど、企業と学校が双方向で協働し、地域課題の解決に取り組める体制を整備してまいりたい。

その他の質問 仙台赤十字病院跡地の利活用について／中国訪問とジャイアントパンダ誘致について／剣道竹刀作製の伝統継承と支援の在り方について／宮城の公園づくりと宮城県第二総合運動場の整備について／子宮頸がん根絶を目指した仕組みづくりについて



議員名簿

令和7年9月18日 質問